



第 23 回肝細胞研究会会長

熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学

佐々木 裕

第 23 回肝細胞研究会の会長を拝命し、身に余る光栄と厚く御礼申し上げます。

今回はメインテーマを「肝臓の細胞社会学」とさせていただきました。肝細胞、非実質細胞や免疫担当細胞のクロストークが肝臓の機能の発現・維持に関与するか、またその破たんがどのように炎症、線維化、癌化などの病態形成に結び付くかを議論していきたいと思えます。例えば、シンポジウム 1「細胞間相互作用から見た肝再生機序の現状」では、肝臓の再生過程に「肝臓の細胞社会」がいかに対応し、肝組織・機能が再構築されるかについて議論していただきます。シンポジウム 2「肝の恒常性維持と病態形成における細胞間クロストーク」では、肝細胞と類洞壁細胞などの構成細胞群が機能を分担し情報のクロストークを介して多岐にわたる肝機能を維持しているか、そしてその変調がどのように肝障害を惹起しているかを討論いただきます。さらにシンポジウム 3「肝細胞微小免疫環境の解明に基づく疾患研究－動的平衡の維持と破綻のメカニズム」では、免疫細胞の解析を通して肝細胞の恒常性の維持や破綻のメカニズムを明らかにする研究成果をご発表いただきます。

特別講演では、熊本大学中尾光善教授には「エピジェネティクス機構による細胞制御と病態」というタイトルで、広島大学田原栄俊教授には「老化・がんにおけるエクソソーム新展開」というタイトルでご講演をいただきます。先生方の研究の展開に有用なヒントや情報を与えていただけるものと思えます。

今回の研究会では肝病態の解析や臨床への展開に焦点を当てており、先生方の研究発表や議論が、将来的に肝疾患の新たな診断法・治療法へと結びつくことを期待しております。

7月の熱い大阪に負けない活気ある研究会になることを祈っております。

平成 28 年 6 月吉日

参加者へのご案内

1. 参加受付

○参加申込書をご記入ください。スムーズにご参加いただくために、あらかじめ参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、ご持参いただくことをお勧めいたします。

○参加費をお支払いいただき、名札（参加証・領収書）をお受け取りください。

○会場内では必ず名札をご着用ください。

日 時： 2016年7月7日（木）8：30～18：30／8日（金）7：45～16：00

場 所： 大阪大学中之島センター10階エレベーターホール

参加費：（一般会員）5,000円／（学生会員）2,000円／（非会員）8,000円

2. 懇親会

日 時： 2016年7月7日（木）19：00～

場 所： 大阪大学中之島センター9階交流サロン

参加費：（一般）2,000円／（学生）1,000円

3. 常任世話人会

日 時： 2016年7月8日（金）8：00～8：50

場 所： 大阪大学中之島センター9階特別会議室

4. 世話人会

日 時： 2016年7月8日（金）11：40～12：30

場 所： 大阪大学中之島センター9階会議室

5. クローク

日 時： 2016年7月7日（木）8：30～懇親会終了時／8日（金）7：45～17：00

場 所： 大阪大学中之島センター7階講義室702

6. 中継会場

ポスター会場内に中継会場を設けております。

7. 優秀ポスター賞

優秀ポスターを選定し、閉会式で発表、表彰します。

8. ランチョンセミナー

チケット制ではありませんが、ご用意する食事数に限りがあります。ご了承ください。

9. 企業展示

大阪大学中之島センター10階待合ロビーにて開催します。

10. その他

・講演会場内では、携帯電話は電源をお切りいただくか、マナーモードに切り替え、講演の妨げにならないようご配慮ください。

・講演中の撮影、録音はご遠慮ください。

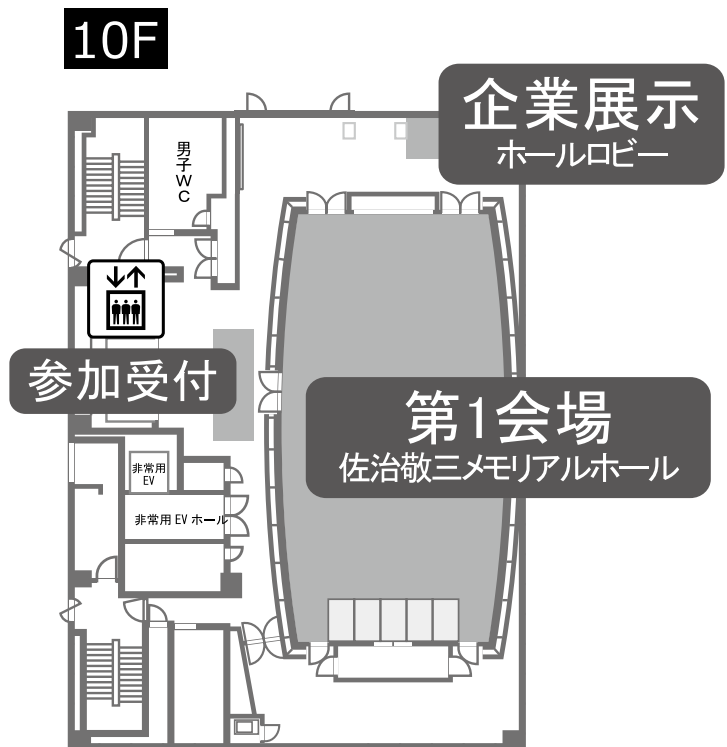
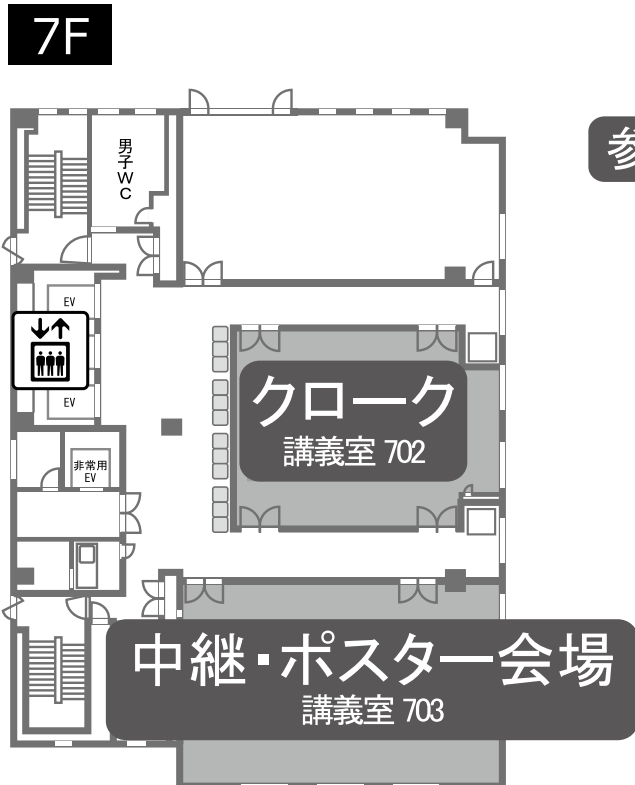
・お呼び出しはお受けできませんので、ご了承ください。

会場アクセス・会場フロア図



大阪大学中之島センター
 大阪市北区中之島 4-3-53

- ・京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分
- ・阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
- ・JR 東西線 新福島駅より 徒歩約9分
- ・JR 環状線 福島駅より 徒歩約12分
- ・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分



日程表 第1日目 7月7日(木)

	第1会場 10F 佐治敬三メモリアルホール	第2会場 7F 講義室 703
	8:30 受付開始	
	8:55 開会の辞	
9:00	9:00-9:24 一般口演1「肝炎ウイルス感染」 司会：竹原 徹郎 (大阪大学)	9:00-10:00 ポスター掲示
	9:26-9:50 一般口演2「肝細胞障害・細胞死」 司会：三高 俊広 (札幌医科大学)	
10:00	9:52-10:16 一般口演3「肝幹(前駆)細胞」 司会：坂井田 功 (山口大学)	ポスター討論1「肝細胞機能」 司会：小森 敦正 (国立病院機構長崎医療センター)
	10:18-10:50 一般口演4「肝細胞・星細胞・細胞培養」 司会：立野 知世 (株式会社フェニックスバイオ)	
11:00	10:52-11:24 一般口演5「組織構築」 司会：小嶋 聡一 (理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター)	
12:00	11:40-12:30 ランチョンセミナー1「肝炎：肝臓の線維化と発がん」 共催：シスメックス株式会社 演者：竹原 徹郎 (大阪大学) 司会：佐々木 裕 (熊本大学)	
13:00		
14:00	13:50-14:40 特別講演1「エピジェネティクス機構による細胞制御と病態」 演者：中尾 光善 (熊本大学) 司会：宮島 篤 (東京大学)	
15:00	14:40-17:10 シンポジウム1「細胞間相互作用から見た肝再生機序の現状」 司会：汐田 剛史 (鳥取大学) 谷水 直樹 (札幌医科大学) 演者：伊藤 暢 (東京大学) 田中 稔 (国立国際医療研究センター研究所) 谷水 直樹 (札幌医科大学) 中野 泰博 (東海大学) 高見 太郎 (山口大学) 土屋 淳紀 (新潟大学) 秦 咸陽 (理化学研究所ライフサイエンス技術基盤センター) 鍛冶 孝祐 (奈良県立医科大学)	
16:00		
17:00		
18:00	17:20-18:00 アフタヌーンセミナー「From the bin to the stars」 共催：東レ株式会社 / 東レ・メディカル株式会社 演者：Massimo Pinzani (University College London, UK) 司会：河田 則文 (大阪市立大学)	
19:00	18:10-19:00 特別講演2「老化・がんにおけるエクソソーム新展開」 演者：田原 栄俊 (広島大学) 司会：仁科 博史 (東京医科歯科大学)	
	19:00-20:30 懇親会 (9F 交流サロン)	19:00 ポスター撤去

日程表 第2日目 7月8日(金)

	第1会場 10F 佐治敬三メモリアルホール	第2会場 7F 講義室 703
	7:45 受付開始	
8:00	8:00-8:24 一般口演6「代謝」 司会：中尾 一彦 (長崎大学)	8:00-8:50 常任世話人会 9F 特別会議室
	8:26-8:50 一般口演7「肝再生・肝発癌」 司会：寺井 崇二 (新潟大学)	
9:00	9:00-11:30 シンポジウム2 「肝の恒常性維持と病態形成における細胞間クロストーク」 司会：竹井 謙之 (三重大学) 河田 則文 (大阪市立大学) 演者：和氣 健二郎 (大阪市立大学) 石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所) 江口 暁子 (三重大学) 別城 悠樹 (九州大学) 田村 孝史 (筑波大学) 青山 友則 (順天堂大学) 三浦 光一 (秋田大学) 牧野 祐紀 (大阪大学) 中川 勇人 (東京大学) 及川 恒一 (東京慈恵会医科大学)	9:00-10:00 ポスター掲示
10:00		
11:00		
12:00		11:40-12:30 ランチョンセミナー2「肝硬変の再生結節に潜むゲノム異常」 共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 演者：丸澤 宏之 (京都大学) 司会：竹井 謙之 (三重大学)
13:00		12:40-13:40 ポスター討論
14:00	13:50-16:20 シンポジウム3「肝細胞微小免疫環境の解明に基づく疾患研究 —動的平衡の維持と破綻のメカニズム」 司会：考藤 達哉 (国立国際医療研究センター) 全 陽 (神戸大学) 演者：小川 光一 (筑波大学) 石川 哲也 (名古屋大学) 松田 道隆 (国立国際医療センター) トウン チイワアントウイ (大阪市立大学) 根本 朋幸 (福井大学) 小川 祐二 (横浜市立大学) 小森 敦正 (国立病院機構長崎医療センター) 下田 慎治 (九州大学) 考藤 達哉 (国立国際医療研究センター)	ポスター討論6「肝線維化(病態)」 司会：稲垣 豊 (東海大学)
15:00		ポスター討論7「肝線維化(治療)」 司会：名越 澄子 (埼玉医科大学)
16:00		ポスター討論8「代謝」 司会：渡邊 丈久 (熊本大学)
		ポスター討論9「細胞死・細胞老化」 司会：富谷 智明 (埼玉医科大学)
		ポスター討論10「肝発癌」 司会：吉治 仁志 (奈良県立医科大学)
	16:20-16:50 表彰式・閉会の辞	16:50 ポスター撤去

司会・演者へのご案内

■司会の先生方へ

1. 口述発表

- ご担当セッション開始 10 分前までに「次司会席」（講演会場内スクリーン向かって右前方）にご着席ください。
- 各セッションの進行は司会の先生に一任いたしますが、終了時刻を厳守いただくようご協力ください。
口述発表：8分（発表5分+質疑3分）

2. ポスター発表

- ご担当セッション開始 10 分前までにポスター会場内の「ポスター受付」にて司会用リボンをお受け取りいただいたうえ、ポスターパネル前にて待機してください。
- 各セッションの進行は司会の先生に一任いたしますが、終了時刻を厳守いただくようご協力ください。
ポスター発表：7分（発表4分+質疑3分）
- セッションが終了しましたら、優秀ポスター賞評価シートに評価をご記入いただき、ポスター受付にご提出ください。

■演者の先生方へ

1. 口演発表

- 発表には PC のみ使用できます。
- 講演開始時刻の 30 分前までに「PC 席」（講演会場内スクリーン向かって左後方）に発表データ（USB メモリまたは PC）をご持参いただき、試写をおませください。「PC 席」での発表データの修正はご遠慮ください。
- 講演開始時刻の 10 分前までに「次演者席」（講演会場内スクリーン向かって左前方）にご着席ください。
- 時間厳守にご協力ください。
- 発表時には演台上のマウスとキーボードを使用し、ご自身で操作していただきます。レーザーポインターもご用意しております。

<発表データ作成時のお願い>

● USB メモリによりご発表データをお持ち込みいただく場合：

- Windows で作成したデータで、動画がない場合にのみ対応可能です。Macintosh で作成された場合、動画をご使用の場合は、必ずご自身の PC をご持参ください。
- 当日用意する PC は Windows 7 です。
- アプリケーションは Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010/2013 を搭載しています。
- 画面解像度は XGA（1024 × 768 ドット）です。
- 文字化けや文字ずれを極力避けるため、フォントは OS 標準のものをご使用ください。
例：Century、Century Gothic、Times New Roman、MS 明朝、MS ゴシックなど
- ファイル名は「セッション名_演題番号_演者名」としてください。
- お預かりしたご発表データは、学会終了後、責任をもって消去いたします。

● PC を持参される場合

- 利用機種、OS、アプリケーションに制限はありませんが、D-sub15 ピンによるモニター出力が必要です。ご持参いただく PC から D-sub15 ピンへの変換コネクタが必要な場合には各自でご用意ください。D-sub15 ピン以外では接続できません。HDMI、DisplayPort 等のデジタル出力、USB ポート、IEEE1394 ポートからの映像出力には対応しておりませんのでご注意ください。

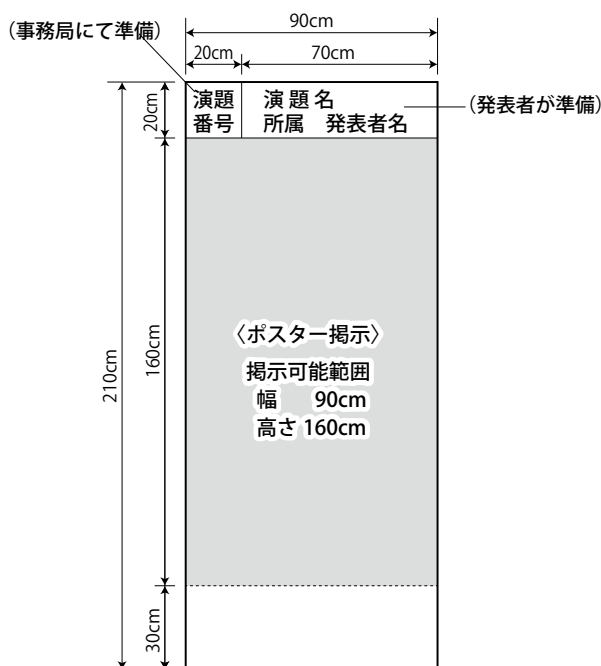


D-sub15 ピン

- 動画**がある場合、再生できることを必ずご確認ください。本体のモニターに動画が表示されても外部出力画面には表示されない場合がありますので、発表に使用するPCの外部出力にモニターを接続してご確認ください。また、別のPCで作成された動画は再生できない場合がありますのでご注意ください。
- 音声をご使用いただけます。
- スクリーンセーバー、ウイルスチェック、Wi-Fi、ならびに省電力設定はあらかじめ解除しておいてください。
- 電源ケーブルを必ずご持参ください。試写から実写までのスタンバイ期間もPCは立ち上げたままとなりますので、バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 何らかのトラブルによりお持ちいただいたPCが作動しないことがあります。必ず**バックアップデータ**をUSBメモリにてご持参ください。バックアップデータは**Windows 対応**のものに限ります。
- PCの画面解像度はXGA（1024×768ドット）です。プロジェクターへの投影解像度はXGA（1024×768ドット）ですので、ワイド設定で作成されたデータは、上下に空白が生じて投影されます。解像度は下記の方法でご設定ください。
Windows XPの場合：デスクトップ画面でマウスを右クリック→プロパティ→設定→画面の解像度を1024×768に合わせる。
Windows 7/8/10の場合：デスクトップ画面でマウスを右クリック→画面の解像度を1024×768に合わせる。
- 終わりましたら、必ず各会場内の「PC席」にてPCをお受け取りください。

2. ポスター発表

- パネルサイズは下記をご参照ください。**演題番号は事務局で用意いたします。**



- 貼付・撤去時間は下記のとおりです。掲示用のピンは事務局で用意いたします。
 貼付時間： 9:00～10:00
 撤去時間： 2016年7月7日（木）19:00～19:20 / 8日（金）16:50～17:10
 ＊撤去時間を過ぎても撤去されないポスターは事務局にて破棄いたします。
- セッション開始10分前までにポスター会場内「ポスター受付」にて**演者リボン**をお受け取りのうえ、セッション開始5分前までに自身のポスターパネル前にて待機してください。
- 時間厳守にご協力ください。持ち時間は7分（発表4分+質疑3分）です。
- 優秀ポスターを選定し、閉会式で発表、表彰します。

プログラム

7月7日 (木)

8:55-	開会の辞	10
9:00-9:24	一般口演 1 「肝炎ウイルス感染」	10
9:26-9:50	一般口演 2 「肝細胞障害・細胞死」	10
9:52-10:16	一般口演 3 「肝幹 (前駆) 細胞」	10
10:18-10:50	一般口演 4 「肝細胞・星細胞・細胞培養」	11
10:52-11:24	一般口演 5 「組織構築」	11
11:40-12:30	ランチョンセミナー 1	12
12:40-13:08	ポスター討論 1 「肝細胞機能」	12
13:08-13:29	ポスター討論 2 「細胞培養」	12
12:40-13:15	ポスター討論 3 「胆管細胞」	13
12:40-13:08	ポスター討論 4 「肝幹 (前駆) 細胞」	13
13:08-13:36	ポスター討論 5 「発生・組織構築」	14
13:50-14:40	特別講演 1	14
14:40-17:10	シンポジウム 1 「細胞間相互作用から見た肝再生機序の現状」	14
17:20-18:00	アフタヌーンセミナー 1	15
18:10-19:00	特別講演 2	15

7月8日 (金)

8:00-8:24	一般口演 6 「代謝」	16
8:26-8:50	一般口演 7 「肝再生・肝発癌」	16
9:00-11:30	シンポジウム 2 「肝の恒常性維持と病態形成における細胞間クロストーク」	16
11:40-12:30	ランチョンセミナー 2	17
12:40-13:01	ポスター討論 6 「肝線維化 (病態)」	17
13:01-13:29	ポスター討論 7 「肝線維化 (治療)」	18
12:40-13:08	ポスター討論 8 「代謝」	18
12:40-13:08	ポスター討論 9 「細胞死・細胞老化」	19
13:08-13:29	ポスター討論 10 「肝発癌」	19
13:50-16:20	シンポジウム 3 「肝細胞微小免疫環境の解明に基づく疾患研究 — 動的平衡の維持と破綻のメカニズム」	19
16:20-16:50	表彰式・閉会の辞	

7月7日(木)

8:55-

開会の辞

9:00-9:24

一般口演 1「肝炎ウイルス感染」

司会：竹原 徹郎（大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学）

- 01-1 Vero 細胞を用いた C 型肝炎ウイルス感染複製系の構築 38
村山 麻子、杉山 奈央、脇田 隆字、加藤 孝宣
国立感染症研究所ウイルス第二部
- 01-2 ヒト肝細胞キメラマウスを用いた B 型肝炎ウイルス感染が引き起こすヒト肝細胞の Ploidy 異常並びに細胞の肥大化に関する解析 38
石田 雄二^{1,2}、吉実 康美¹、山崎 ちひろ¹、柳 愛美¹、小川 裕子¹、茶山 一彰^{2,3}、立野 知世^{1,2}
¹ 株式会社フェニックスバイオ
² 広島大学肝臓プロジェクト研究センター
³ 広島大学大学院消化器・代謝内科学
- 01-3 HBV 感染培養系におけるヒト iPS 細胞由来肝細胞系譜細胞の応用 39
金子 俊¹、柿沼 晴^{1,2}、朝比奈 靖浩^{1,2}、紙谷 聡英³、三好 正人¹、角田 知之¹、新田 沙由梨¹、佐藤 綾子¹、浅野 侑¹、大谷 賢志¹、東 正新¹、渡辺 守¹
¹ 東京医科歯科大学消化器内科
² 東京医科歯科大学大学院肝臓病態制御学
³ 東海大学創造科学技術研究機構医学部門

9:26-9:50

一般口演 2「肝細胞障害・細胞死」

司会：三高 俊広（札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所組織再生学部門）

- 02-1 ミトコンドリア障害時における肝細胞 DNaseII の役割 40
齋藤 義修、疋田 隼人、甲斐 優吾、野崎 泰俊、牧野 祐紀、中堀 輔、田中 聡司、重川 稔、阪森 亮太郎、巽 智秀、竹原 徹郎
大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学
- 02-2 肝内胆管がんモデルマウスにおいて、クッパー細胞が Notch シグナルを活性化し、肝細胞の分化転換を誘導する 40
寺田 茉衣子¹、堀澤 健一¹、三浦 静¹、高島 康郎¹、大川 恭之^{2,3}、関谷 明香¹、松田 花菜江¹、鈴木 淳史^{1,2}
¹ 九州大学生体防御医学研究所器官発生再生学
² 九州大学生体防御医学研究所トランスクリプトミクス分野
³ 科学技術振興機構・CREST
- 02-3 真菌・細菌による活性酸素を介するトランスグルタミナーゼの核局在と活性促進依存肝細胞死 41
小嶋 聡一¹、Ronak Shrestha¹、梶原 将²
¹ 理研ライフサイエンス技術基盤センター
² 東京工業大学生命理工学院生命理工学系

9:52-10:16

一般口演 3「肝幹（前駆）細胞」

司会：坂井田 功（山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学）

- 03-1 長期間増殖可能な成体ラット小型肝細胞の分離培養法の検討と特性解析 42
石井 雅之^{1,2}、市戸 義久¹、木野 潤一¹、谷水 直樹¹、水口 徹²、三高 俊広¹
¹ 札幌医科大学フロンティア医学研究所組織再生学部門
² 札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌科学講座

- 03-2 Lutheran は肝幹 / 前駆細胞の性状を制御する機能性マーカーである 42
 三浦 泰史^{1,2,4}、田中 稔⁴、吉川 大和³、合田 巨人¹、宮島 篤²
¹ 早大先進研生命医科学専攻
² 東大分生研発生・再生研究分野
³ 東京薬科大薬学部病態生化学教室
⁴ 国立国際医療研究センター細胞組織再生医学
- 03-3 Bone Morphogenetic Protein-4 による肝幹 / 前駆細胞の増殖と終末分化の調節機構 43
 柿沼 晴^{1,2}、後藤 文男²、角田 知之²、三好 正人²、大谷 賢志²、浅野 侑²、金子 俊²、東 正新²、渡辺 守²
¹ 東京医科歯科大学大学院肝臓病態制御学
² 東京医科歯科大学消化器内科

10:18-10:50 一般口演 4「肝細胞・星細胞・細胞培養」

司会：立野 知世（株式会社フェニックスバイオ研究開発部）

- 04-1 zone 特異的な性質を有したヒト iPS 細胞由来肝細胞作製法の開発 44
 三谷 成二¹、高山 和雄^{1,2,3}、立花 雅史¹、櫻井 文教¹、水口 裕之^{1,2,4}
¹ 大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野
² 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所肝細胞分化誘導プロジェクト
³ 京阪神次世代グローバル研究リーダー育成コンソーシアム
⁴ 大阪大学国際医工情報センター
- 04-2 老化肝星細胞より分泌される細胞外分泌顆粒の生物学的意義の検討 44
 宮副 由梨、三馬 聡、佐々木 龍、山道 忍、山島 美緒、中鋪 卓、末廣 智之、本田 琢也、柴田 英貴、
 小澤 栄介、宮明 寿光、田浦 直太、中尾 一彦
 長崎大学病院消化器内科
- 04-3 肝臓細胞の基質への接着反応の解析 45
 吉里 勝利^{1,2}、松原 三佐子^{1,3}
¹ 大阪市立大学大学院医学研究科合成生物学寄附講座
² フェニックスバイオ株式会社
³ 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆臓病態内科学
- 04-4 肝発生過程における肝前駆細胞の胆管様細胞への分化誘導機構 45
 紙谷 聡英¹、安斎 和也²、近田 裕美¹、峯 徹哉²
¹ 東海大学医学部分子生命科学
² 東海大学医学部消化器内科学

10:52-11:24 一般口演 5「組織構築」

司会：小嶋 聡一（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター微量シグナル制御技術開発特別ユニット）

- 05-1 同所性肝細胞シート移植による肝臓創生 46
 小森 淳二^{1,2}、大橋 一夫^{3,4}、辰巳 公平^{4,5}、岡野 光夫⁴、エリック ラガセ²
¹ 高松赤十字病院消化器外科
² 米国ピッツバーグ大学マックゴーワン再生医療研究所
³ 大阪大学薬学研究科
⁴ 東京女子医科大学先端生命医科学研究所
⁵ 近畿大学医学部再生機能医学講座
- 05-2 肝特異的な特徴を有するヒト肝組織の皮下構築と機能発現解析 46
 堺 裕輔、小池 真章子、山之内 孝彰、曾山 明彦、日高 匡章、高槻 光寿、江口 晋
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科移植・消化器外科
- 05-3 転写共役因子 YAP の細胞競合における役割 47
 仁科 博史
 東京医科歯科大学難治疾患研究所
- 05-4 条鰭類における肝臓構築の多様化はカライワシ目を起点におこる 47
 塩尻 信義¹、太田 孝陽¹、福地 智一¹、安保 友香¹、関口 純理²、松原 幸枝²、川上 速人²
¹ 静岡大学理学部生物科学科
² 杏林大学医学部解剖学教室

11:40-12:30

ランチョンセミナー 1

(共催：シスメックス株式会社)

司会：佐々木 裕 (熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学)

- LS1 肝炎：肝臓の線維化と発がん73
竹原 徹郎
大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

12:40-13:08

ポスター討論 1「肝細胞機能」

司会：小森 敦正 (国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター肝臓内科)

- P1-1 肝臓における薬物代謝の性差を制御する分子メカニズム52
近田 裕美¹、井田 絹代²、稲垣 豊¹、紙谷 聡英²
¹ 東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学
² 東海大学医学部基礎医学系分子生命科学
- P1-2 慢性肝障害時に見られる血栓傾向には肝細胞が発現する組織因子が関与する52
辰巳 公平^{1,2}、Rautou Pierre-Emmanuel^{2,3}、Antoniak Silvio²、Owens Albert²、
Sparkenbaugh Erica²、Holle Lori²、Wolberg Alisa²、Kopec Anna⁴、Pawlinski Rafal²、
Luyendyk James⁴、梶 博史¹、Mackman Nigel²
¹ 近畿大学医学部再生機能医学講座
² 米国ノースカロライナ大学チャペルヒル校
³ 仏国ボージョン病院
⁴ 米国ミシガン州立大学
- P1-3 成体ラット小型肝細胞由来 CD44 陽性細胞の肝分化能53
木野 潤一¹、石井 雅之^{1,2}、市戸 義久¹、谷水 直樹¹、水口 徹²、三高 俊広¹
¹ 札幌医科大学フロンティア医学研究所組織再生学部門
² 札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座
- P1-4 肝細胞におけるストレスキナーゼ MKK7 の役割：初代培養肝細胞を用いた検討53
大塩 貴子、山本 雅大、藤井 清永、陳 錫、辛 氷、渡邊 賢二、岡田 陽子、西川 祐司
旭川医科大学医学部病理・腫瘍病理

13:08-13:29

ポスター討論 2「細胞培養」

司会：水口 裕之 (大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野)

- P2-1 アテロコラーゲン膜における HepG2 細胞の肝機能の亢進54
佐藤 哲郎、勢村 加容子、和田 繭子、阿部 葉月、藤本 一郎
株式会社高研研究所
- P2-2 安定した肝細胞複合シート作製のための線維芽細胞培養条件の検討54
小池 真草子、堺 裕輔、川原 大輔、高槻 光寿、江口 晋
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科移植・消化器外科
- P2-3 肝細胞移植における移植前グラフト保存法に関する検討55
福岡 健吾¹、松村 宗幸¹、吉田 諭¹、猪村 武弘²、稲垣 明子²、五十嵐 康弘²、宮城 重人¹、大橋 一夫³、
絵野沢 伸⁴、大内 憲明¹、里見 進¹、後藤 昌史^{1,2}
¹ 東北大学先進外科
² 東北大学移植再生医学
³ 大阪大学薬学研究科
⁴ 国立成育医療研究センター

12:40-13:15

ポスター討論 3「胆管細胞」

司会：西川 祐司（旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野）

- P3-1 ヒト肝における薬物代謝物の胆管内排泄を外挿する新しい共培養システム 56
押方 歩、竹澤 俊明
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門新産業開拓研究領域
- P3-2 転写因子 Kruppel-like factor 5 による細胆管反応の制御 56
岡田 甫^{1,2}、金子 洸太^{1,2}、神元 健児^{1,2}、勝又 廉^{1,2}、山田 みなみ^{1,2}、コック シンディ²、依馬 正次³、
宮島 篤^{1,2}、伊藤 暢^{1,2}
¹ 東京大学理学系研究科生物科学専攻
² 東京大学分子細胞生物学研究所発生・再生研究分野
³ 滋賀医科大学動物生命科学センター幹細胞・ヒト疾患モデル研究分野
- P3-3 肝再生過程を指標とした劇症化リスクのある薬物を検出できる新規評価系の構築 57
竹村 晃典、伊崎 彩、関根 秀一、伊藤 晃成
千葉大学大学院薬学研究院生物薬剤学研究室
- P3-4 Development of an adeno-associated virus vector for targeting of biliary epithelial cells
in the mouse liver 57
コック シンディー、神元 健児、宮島 篤、伊藤 暢
東京大学分子細胞生物学研究所発生・再生研究分野
- P3-5 Cyst-Structure Formation of Biliary Cells Using PDMS-Based Microstructure for Potential
Biliary Network In Vitro 58
サフィットリリズキ アスティア¹、篠原 満利恵¹、三浦 泰史²、ダノア マシュウ³、田中 稔⁴、酒井 康行^{1,5}
¹ 東京大学生産技術研究所
² 早稲田大学先進理工学部生命医科学科
³ マイクロエレクトロニクス・ナノテクノロジー電子研究所
⁴ 東京大学分子生物学研究所
⁵ 東京大学工学系研究科

12:40-13:08

ポスター討論 4「肝幹（前駆）細胞」

司会：紙谷 聡英（東海大学医学部分子生命科学）

- P4-1 組成が明らかな培養条件でのヒト iPS 細胞由来肝細胞の作製とその品質評価 59
高山 和雄^{1,2,3}、萩原 康子¹、関口 清俊⁴、櫻井 文教¹、水口 裕^{1,2,5}
¹ 大阪大学薬学研究科分子生物学分野
² 医薬基盤・健康・栄養研究所肝細胞分化誘導プロジェクト
³ 京阪神次世代グローバル研究リーダー育成コンソーシアム
⁴ 大阪大学蛋白質研究所細胞外マトリックス研究室
⁵ 大阪大学国際医工学情報センター
- P4-2 ヒト iPS 細胞由来肝細胞への HBV 感染 59
木戸 丈友¹、杉山 真也²、厚井 悠太¹、小林 彩香¹、大山 裕棋¹、チェン シンウェイ¹、溝上 雅史²、宮島 篤¹
¹ 東京大学分子細胞生物学研究所発生・再生研究分野
² 国立国際医療研究センター
- P4-3 ラット 2-AAF 投与モデルを模した新規マウス肝前駆細胞誘導モデル構築の試み 60
山田 みなみ、Cindy Kok、宮島 篤、伊藤 暢
東京大学分子細胞生物学研究所発生・再生研究分野
- P4-4 胆道系幹 / 前駆細胞 (BTSC) の単離・同定法の確立と生理的意義の解明 60
松井 理司^{1,2}、田中 稔^{2,3}、宮島 篤¹
¹ 東京大学分子細胞生物学研究所発生・再生研究分野
² 国立国際医療研究センター細胞組織再生医学研究部
³ 東京大学分子細胞生物学研究所幹細胞制御研究分野

13:08-13:36 ポスター討論5「発生・組織構築」

司会：田川 陽一（東京工業大学大学院生命理工学研究科生体分子機能工学専攻）

- P5-1 網羅的遺伝子発現データ解析によるマウス肝臓の成熟化過程におけるシグナルネットワークモデルの構築 61
福地 智一、西岡 侑哉、塩尻 信義
静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻生物科学コース
- P5-2 間葉系細胞移植における細胞間相互作用と肝再生機構 61
市戸 義久、谷水 直樹、三高 俊広
札幌医科大学フロンティア医学研究所組織再生学部門
- P5-3 マウス肝細胞および胆道上皮細胞を用いた小肝組織作製の取り組み 62
今村 一步¹、北里 周²、堺 裕輔¹、小池 真章子¹、長谷川 英子¹、大野 慎一郎¹、原 貴信¹、夏田 孔史¹、
足立 智彦¹、曾山 明彦¹、日高 匡章¹、高槻 光寿¹、黒木 保²、江口 晋¹
¹長崎大学大学院移植・消化器外科
²国立病院機構長崎医療センター外科
- P5-4 マイクロ流体デバイスにおける肝細胞調整培養液を使用した血管化肝組織構築の試み 62
徳永 康明、南 拓志、須藤 亮
慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科

13:50-14:40 特別講演 1

司会：宮島 篤（東京大学分子細胞生物学研究所）

- SP1 エピジェネティクス機構による細胞制御と病態 22
中尾 光善
熊本大学発生医学研究所細胞医学分野

14:40-17:10 シンポジウム 1「細胞間相互作用から見た肝再生機序の現状」

司会：汐田 剛史（鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学）
谷水 直樹（札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所組織再生学部門）

- S1-1 細胞系譜解析による、肝幹／前駆細胞の実在と肝再生への寄与の検証（指定） 24
伊藤 暢
東京大学分子細胞生物学研究所発生・再生研究分野
- S1-2 肝再生過程における肝幹／前駆細胞の実体解明を目指して（指定） 24
田中 稔
国立国際医療研究センター研究所細胞組織再生医学研究部
- S1-3 肝再生過程における肝細胞の分化可塑性の制御機構 25
谷水 直樹¹、西川 祐司²、三高 俊広¹
¹札幌医科大学フロンティア医学研究所組織再生学部門
²旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野
- S1-4 肝発生および線維肝再生過程における肝前駆細胞は、間葉系細胞の Jagged1 をリガンドとする Notch シグナルによって制御される 25
中野 泰博^{1,2}、中尾 祥絵^{1,2}、住吉 秀明^{1,2}、三上 健一郎^{2,5}、丹野 友里²、茂呂 忠^{1,6}、紙谷 聡英^{1,3}、
穂積 勝人^{1,4}、稲垣 豊^{1,2}
¹東海大学大学院医学研究科マトリックス医学生物学センター
²東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学
³東海大学医学部基礎医学系分子生命科学
⁴東海大学医学部基礎医学系生体防御学
⁵弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座
⁶ミノファージェン製薬研究所

- S1-5 肝硬変症に対する自己骨髄細胞による肝再生機序の検討 26
 高見 太郎¹、松本 俊彦¹、坂井田 功^{1,2}
¹ 山口大学大学院医学系研究科消化器内科学
² 山口大学大学院医学系研究科再生医療研究教育センター
- S1-6 骨髄由来の MSC、マクロファージの相互作用による新しい肝硬変治療を目指した基礎的研究 26
 土屋 淳紀、清野 智、渡邊 雄介、川田 雄三、五十嵐 俊三、小島 雄一、山際 訓、寺井 崇二
 新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野
- S1-7 トランスクリプトーム解析からわかった肝類洞内皮細胞と肝細胞の相互作用による新規肝再生制御因子
 リポカリン Orm1 の同定 27
 秦 咸陽、原 詳子、鈴木 治和、小嶋 聡一
 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤センター
- S1-8 DNMT1 による肝細胞の恒常性維持、再生の制御機構 27
 鍛冶 孝祐、関 建一郎、北出 光輝、浪崎 正、吉治 仁志
 奈良県立医科大学内科学第三講座

17:20-18:00 アフタヌーンセミナー (共催：東レ株式会社 / 東レ・メディカル株式会社)

司会：河田 則文 (大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学)

- AS From the bin to the stars: the use of discarded human donor livers for regenerative medicine
 and hepatic disease modeling 75
 Massimo Pinzani, MD, PhD, FRCP
 Professor of Medicine, Sheila Sherlock Chair of Hepatology and Director of the Institute for Liver and
 Digestive Health Royal Free Hospital, University College London, UK

18:10-19:00 特別講演 2

司会：仁科 博史 (東京医科歯科大学難治疾患研究所発生再生生物学分野)

- SP2 老化・がんにおけるエクソソーム新展開 23
 田原 栄俊
 広島大学大学院医歯薬保健学研究院細胞分子生物学研究室

19:00- 懇親会 (9 階交流サロン)

7月8日(金)

8:00-8:24 一般口演6「代謝」

司会：中尾 一彦（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科消化器内科学）

- 06-1 クッパー細胞を標的としたナノ酸化剤による NAFLD/NASH の治療効果 48
前田 仁志¹、田中 基彦²、佐々木 裕²、丸山 徹¹
¹ 熊本大学大学院薬学教育部
² 熊本大学医学部消化器内科
- 06-2 肝癌脂質代謝経路における FoxM1 転写因子の関与 48
小倉 智志、吉田 雄一、倉橋 知英、柄川 真弓、古田 訓丸、木曾 真一、鎌田 佳宏、竹原 徹郎
大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学
- 06-3 肝癌細胞のエネルギー代謝におけるヒストン修飾酵素 LSD1/2 の役割 49
長岡 克弥¹、日野 信次朗³、坂元 顕久³、渡邊 丈久²、田中 基彦²、中尾 光善³、ワンズ ジャック¹、
佐々木 裕²
¹ Brown University Rhode Island Hospital Liver Research Center, UK
² 熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学分野
³ 熊本大学発生医学研究所細胞医学分野

8:26-8:50 一般口演7「肝再生・肝発癌」

司会：寺井 崇二（新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野）

- 07-1 イヌ肝線維化モデルによる培養自己骨髄間葉系幹細胞投与の有効性評価 50
相部 祐希、高見 太郎、西村 達朗、佐々木 嶺、松田 崇史、山本 直樹、坂井田 功
山口大学大学院医学系研究科消化器内科学
- 07-2 In vivo バイオイメージング技術を用いた骨髄細胞の投与ルートによる体内動態比較 50
小林 英司^{1,2,3}、芳賀 純子¹、熊谷 雅代³、絵野沢 伸¹、袴田 陽二²
¹ 慶應大学医学部臓器再生医学講座
² 日本獣医生命科学大学
³ 自治医科大学先端医療技術開発センター
- 07-3 癌胎児遺伝子 SALL4 とヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC1,2) の共発現による肝細胞癌悪性転化の
分子機序 51
島垣 智成¹、吉住 朋晴¹、王 歆林^{1,2}、本村 貴志¹、長津 明久¹、伊藤 心二¹、原田 昇¹、播本 憲史¹、
池上 徹¹、副島 雄二¹、小田 義直²、前原 喜彦¹
¹ 九州大学大学院消化器・総合外科
² 九州大学大学院形態機能病理学分野

9:00-11:30 シンポジウム2「肝の恒常性維持と病態形成における細胞間クロストーク」

司会：竹井 謙之（三重大学大学院医学系研究科病態制御医学講座消化器内科学）
河田 則文（大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学）

- S2-1 肝星細胞活性化のイニシエーションは肝星細胞-実質細胞間の接着破綻による 28
和氣 健二郎^{1,2,3}、松原 勤¹、佐藤 哲二²、池田 一雄¹
¹ 大阪市立大学大学院医学研究科機能細胞形態学
² 鶴見大学歯学部解剖組織細胞生物学
³ ミノファーゲン製薬肝臓リサーチ・ユニット
- S2-2 新規培養基材 VECCELL 培養器による星細胞の脱活性化の促進 28
石田 誠一¹、堀内 新一郎¹、原 詳子²、黒田 幸恵¹、内田 翔子¹、金 秀良¹、松浦 知和³、小嶋 聡一²、
関野 祐子¹
¹ 国立医薬品食品衛生研究所薬理部
² 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター
³ 東京慈恵医科大学臨床検査医学講座

- S2-3 肝細胞由来の Extracellular vesicles はアルコール性肝炎の病態進行に関与する 29
江口 暁子^{1,2}、塚本 秀和³、竹井 謙之¹、Feldstein Ariel²
¹ 三重大学大学院医学系研究科消化器内科学
² Pediatrics, University of California San Diego, USA
³ Southern California Research Center for ALPD and Cirrhosis and Departments of Pathology, Keck School of Medicine of the University of Southern California, USA
- S2-4 バイオマーカー WFA(+)-M2BP の肝線維化進展における役割の解明；肝星細胞とクッパー細胞の相互作用 29
別城 悠樹¹、王 歆林¹、本村 貴志¹、伊藤 心二¹、原田 昇¹、播本 憲史¹、池上 徹¹、副島 雄二¹、吉住 朋晴¹、前原 喜彦¹
¹ 九州大学大学院消化器・総合外科
² 福岡市民病院外科
- S2-5 肝細胞間クロストークにおける肝類洞内皮細胞の存在意義 30
田村 孝史¹、大和田 洋平¹、倉田 昌直¹、久倉 勝治¹、櫻井 遊²、原島 秀吉²、大河内 信弘¹
¹ 筑波大学消化器外科
² 北海道大学大学院薬学研究院
- S2-6 肝線維化進展と脾臓の免疫調節機構：腸-肝相関に対する脾臓の関与 30
青山 友則、内山 明、今 一義、山科 俊平、池嶋 健一、渡辺 純夫
順天堂大学医学部消化器内科
- S2-7 NASH 肝癌における TLR を介した細胞間クロストーク 31
三浦 光一、石岡 充彬、南 慎一郎、堀江 泰夫、大嶋 重敏、後藤 隆、大西 洋英
秋田大学第一内科
- S2-8 肝癌進展における結合組織増殖因子 (CTGF) を介した肝癌細胞と肝星細胞の細胞間相互作用 31
牧野 祐紀、疋田 隼人、甲斐 優吾、野崎 泰俊、中堀 輔、齋藤 義修、田中 聡司、小玉 尚宏、重川 稔、阪森 亮太郎、巽 智秀、竹原 徹郎
大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学
- S2-9 胆管恒常性破綻を基盤とした胆管癌モデルの構築と発生機序・起源細胞解明 32
中川 勇人、小池 和彦
東京大学消化器内科
- S2-10 世界初 FL-HCC patient-derived xenograft tumor model を用いた新規治療法の開発戦略 32
及川 恒一^{1,2}、Wauthier Eliane²、Dinh Timothy²、Sethupathy Praveen²、Reid Lola²、猿田 雅之¹
¹ 東京慈恵会医科大学医学部消化器肝臓内科
² 米国ノースカロライナ大学チャペルヒル校ラインバーガー癌研究所

11:40-12:30 ランチョンセミナー 2 (共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社)

司会：竹井 謙之 (三重大学大学院医学系研究科病態制御医学講座消化器内科学)

- LS2 肝硬変の再生結節に潜むゲノム異常 74
丸澤 宏之
京都大学大学院医学研究科消化器内科

12:40-13:01 ポスター討論 6「肝線維化 (病態)」

司会：稲垣 豊 (東海大学医学部基盤診療学系)

- P6-1 FGF2 は Cytoglobin と α SMA 遺伝子発現を抑制し肝星細胞の脱活性化を促進する 63
松原 三佐子^{1,2}、大黒 敦子¹、松原 勤³、池田 一雄³、吉里 勝利^{2,4}、河田 則文¹
¹ 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科
² 大阪市立大学大学院医学研究科合成生物学寄附講座
³ 大阪市立大学大学院医学研究科機能細胞形態学
⁴ フェニックスバイオ株式会社

- P6-2 肝星細胞における TGF- β 1 の CYGB 発現抑制機構の解析63
 翁 良徳¹、松原 三佐子^{1,3}、松原 勤²、大黒 敦子¹、池田 一雄²、吉里 勝利^{3,4}、河田 則文¹
¹ 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科
² 大阪市立大学大学院医学研究科機能細胞形態学
³ 大阪市立大学大学院医学研究科合成生物学寄附講座
⁴ フェニクバイオ株式会社
- P6-3 好中球の肝線維化改善効果64
 西條 栄子¹、榎本 豊¹、松田 道隆^{1,2}、シンディ コック¹、田中 稔^{1,2}、宮島 篤¹
¹ 東京大学分子細胞生物学研究所発生・再生研究分野
² 国立国際医療研究センター研究所細胞療法開発研究

13:01-13:29 ポスター討論 7「肝線維化（治療）」

司会：名越 澄子（埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科）

- P7-1 骨髄由来間葉系幹細胞肝細胞化シートによる肝線維化抑制作用65
 板場 則子¹、河野 洋平¹、森本 稔²、大橋 一夫³、汐田 剛史¹
¹ 鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学部門
² 鳥取大学生命機能研究支援センター機器分析分野
³ 大阪大学大学院薬学研究科附属創薬センター
- P7-2 新規 Wnt/ β -catenin シグナル抑制剤 IC-2 による肝線維化抑制効果65
 阿部 健一郎、板場 則子、清水 寛基、河野 洋平、汐田 剛史
 鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学部門
- P7-3 マクロファージのアクチン重合制御による肝線維溶解療法の開発66
 松本 俊彦^{1,2}、仁志 麻衣子¹、藤澤 浩一¹、高見 太郎¹、山本 直樹¹、坂井田 功¹
¹ 山口大学大学院医学系研究科消化器内科学
² 山口大学大学院医学系研究科臨床検査・腫瘍学
- P7-4 FXR agonist（オベチコール酸）およびアンジオテンシン II 受容体阻害薬の併用による NASH 肝線維化進展抑制効果66
 浪崎 正、大倉 康志、佐藤 慎哉、守屋 圭、北出 光輝、竹田 幸祐、瓦谷 英人、鍛冶 孝祐、西村 典久、澤田 保彦、関 建一郎、野口 隆一、下里 直隆、吉治 仁志
 奈良県立医科大学内科学第三講座（消化器・内分泌代謝内科）

12:40-13:08 ポスター討論 8「代謝」

司会：渡邊 丈久（熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学）

- P8-1 肝臓における Neuregulin 1 の糖新生抑制機構の解明67
 大野 友美絵、新井 理智、有村 祐次郎、橋本 琳、合田 巨人
 早稲田大学大学院先進理工学研究科生命医科学専攻
- P8-2 Fructose の腸管透過性亢進を介した NASH 病態進展の検討67
 関 建一郎、北出 光輝、浪崎 正、守屋 圭、竹田 幸祐、瓦谷 英人、鍛冶 孝祐、大倉 康志、高谷 広章、佐藤 慎哉、西村 典久、澤田 保彦、吉治 仁志
 奈良県立医科大学第3内科学
- P8-3 ビルベリーによる非アルコール性脂肪肝炎（NASH）の予防に向けた基礎的検討68
 芳賀 早苗¹、荘厳 哲哉²、森田 直樹³、浅野 真未¹、尾崎 倫孝¹
¹ 北海道大学保健科学生体分子・機能イメージング部門
² 株式会社わかさ生活
³ 産総研生命工学プロセス分子生物工学研究グループ
- P8-4 メダカ脂肪肝モデルにおけるカルニチン投与による脂肪肝改善効果および代謝変化の検討68
 藤澤 浩一^{1,2}、高見 太郎²、松本 俊彦²、山本 直樹²、坂井田 功^{1,2}
¹ 山口大学医学系研究科再生医療教育研究センター
² 山口大学医学系研究科消化器内科

12:40-13:08 ポスター討論 9「細胞死・細胞老化」

司会：富谷 智明（埼玉医科大学健康推進センター）

- P9-1 肝細胞移植における分離肝細胞に対する ADP/ATP ratio を用いた新規 viability 評価方法の開発 ……69
松村 宗幸¹、猪村 武弘²、福岡 健吾¹、稲垣 明子²、宮城 重人¹、大橋 一夫³、大内 憲明⁴、里見 進¹、
後藤 昌史^{1,2}
¹ 東北大学医学部先進外科学分野
² 東北大学医学部移植再生医学分野
³ 大阪大学薬学研究科
⁴ 東北大学医学部腫瘍外科学分野
- P9-2 非アルコール性脂肪性肝炎の病態形成における多様な細胞死の意義 ……69
鶴崎 慎也^{1,2}、松田 道隆²、宮島 篤¹、田中 稔²
¹ 東京大学分子細胞生物学研究所
² 国立国際医療研究センター細胞組織再生医学研究部
- P9-3 アセトアミノフェン肝障害におけるロイコトリエン B4 受容体 (BLT1) の役割 ……70
古城 憲^{1,2}、伊藤 義也^{1,2}、井上 智仁^{2,3}、西澤 伸恭^{1,2}、大久保 博世^{2,4}、南野 勉^{2,3}、渡邊 昌彦¹、馬嶋 正隆²
¹ 北里大学医学部外科学
² 北里大学医学部薬理学
³ 北里大学医学部消化器内科学
⁴ 北里大学医学部心臓血管外科学
- P9-4 肝星細胞の遺伝子発現における胆汁酸の影響 ……70
松原 勤¹、寺西 優雅²、小田桐 直志¹、河田 則文²、池田 一雄¹
¹ 大阪市立大学大学院医学研究科機能細胞形態学
² 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学

13:08-13:29 ポスター討論 10「肝発癌」

司会：吉治 仁志（奈良県立医科大学第3内科）

- P10-1 Loss of Cytoglobin induced spontaneously and diet derived liver fibrosis and cancer development ……71
レイ チイタントウイ¹、トウン チイヴァントウイ¹、吉里 勝利²、河田 則文¹
¹ 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学
² Academic Advisor's Office, PhoenixBio Co.Ltd., Japan
- P10-2 非アルコール性脂肪肝炎に起因する肝障害・肝硬変における臓器マクロファージ機能変化について ……71
河野 寛、藤井 秀樹
山梨大学第一外科
- P10-3 マウス肝腫瘍表現型決定における Yap、Notch、Myc および PI3 kinase 経路の相互作用の検討 ……72
山本 雅大、辛 氷、渡邊 賢二、大塩 貴子、藤井 清永、陳 錫、岡田 陽子、西川 祐司
旭川医大腫瘍病理

13:50-16:20 シンポジウム 3「肝細胞微小免疫環境の解明に基づく疾患研究
—動的平衡の維持と破綻のメカニズム」司会：考藤 達哉（国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝疾患研究部）
全 陽（神戸大学大学院医学部付属病院病理部・病理診断科）

- S3-1 生体蛍光顕微鏡を用いた肝微小循環観察システムによる虚血再灌流障害における類洞内 Kupffer 細胞の
動態研究 ……33
小川 光一、近藤 匡、田村 孝史、松村 英樹、大河内 信弘
筑波大学消化器外科
- S3-2 B型肝炎ウイルス粒子の可視化による細胞内侵入機構の解析 ……33
石川 哲也¹、湯川 博²、馬場 嘉信^{2,3}
¹ 名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻
² 名古屋大学先端ナノバイオデバイス研究センター
³ 名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻

S3-3	オンコスタチン M によるマウス肝線維化促進機構の解析 34 松田 道隆 ¹ 、宮島 篤 ² 、田中 稔 ¹ ¹ 国立国際医療センター細胞組織再生医学研究部 ² 東京大学分子細胞生物学研究所発生・再生研究分野
S3-4	Absence of Cytoglobin enhances liver injury and fibrogenesis during cholestasis in mice via increase of nitric oxide 34 トウン チイワアントウイ ¹ 、レイ チイタントウイ ¹ 、吉里 勝利 ² 、河田 則文 ¹ ¹ 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 ² Academic Advisor's Office, PhoenixBio Co.Ltd., Japan
S3-5	Concanavalin A 誘導肝炎モデルにおける転写抑制因子 Id2 の関与 35 根本 朋幸、松田 秀岳、大谷 昌弘、平松 活志、中本 安成 福井大学医学部第二内科
S3-6	パルミチン酸が引き起こす肝臓における自然免疫応答と肥満に伴う endotoxemia の相互作用についての 検討 35 小川 祐二、本多 靖、結束 貴臣、加藤 真吾、今城 健人、米田 正人、中島 淳 横浜市立大学医学部肝胆膵消化器病学
S3-7	ヒト非ウイルス性肝障害における肝内微小免疫環境；トランスクリプトームを用いた個別化解析 36 小森 敦正、林 康平、釘山 有希、戸次 鎮宗、内田 信二郎、橋元 悟、佐伯 哲、長岡 進矢、山崎 一美、 阿比留 正剛、伊東 正博、八橋 弘 国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター
S3-8	胆管細胞での AE2 発現低下は PBC 胆管炎を誘導する一方、酸化ストレスの抑制が炎症を制御する 36 下田 慎治 ¹ 、原田 憲一 ² ¹ 九州大学医学部病態修復内科学 ² 金沢大学医学部形態機能病理学
S3-9	切除肝由来線維芽細胞を用いた肝癌微小環境細胞連関の解析 — 肝癌細胞浸潤能とマクロファージ分化 への関与 37 考藤 達哉、間野 洋平 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝疾患研究部

16:20-16:50

表彰式・閉会の辞